



完全保存版 「自然素材住宅塾」



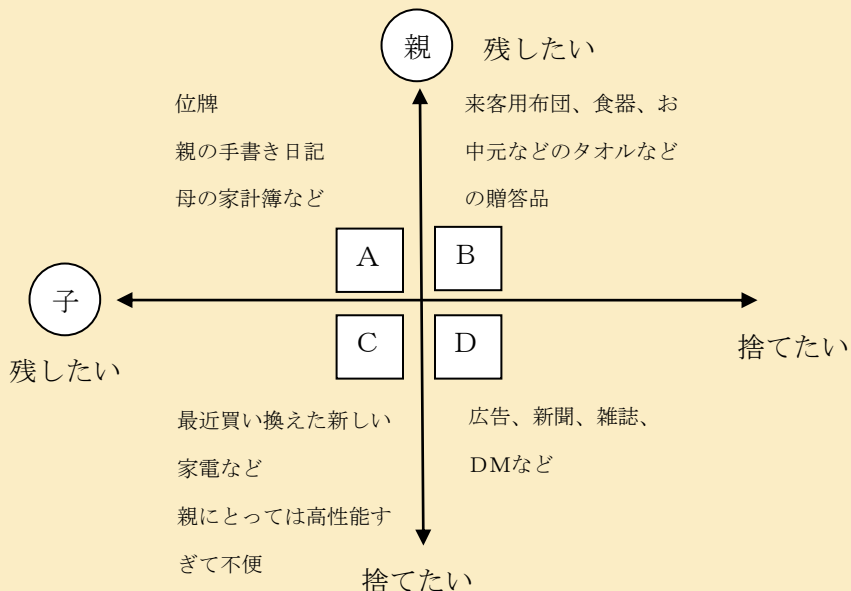
今の住まいと将来の住まいに役立つ情報満載

皆さんこんにちは！駿河屋の九代目当主一樹（いちます）です。
健康法は沢山ありますけど、やっぱり食べ物が大事ですよ！
それでは、今月も子育てママにお役にたてる、大切なこと、発信します！

【相続した実家の片付け】

いずれやってくる親世代の他界。それによって実家を引き継いだはいいけれど、モノの量など手に余って放置される家が増えています。親世代が元気だったころに、実家の物の多さにあきれて、処分を提案しても全く応じてくれなかったなんて事はありませんか。それでも遺品は整理し、実家に住むのか、売却するのか判断しなければ、家はどんどん傷んできてしまいます。

実家のものの整理のコツは、まず4つに分類しましょう。縦軸を「親」として↑を「残したい」、↓を「捨てたい」にします。同様に横軸を「子」として←を「残したい」、→を「捨てたい」とすると、下記のような図になります。



このようにA、B、C、Dの4つの項目に分類してみます。そして、Dは問答無用

で捨てるもの。Aは残すものと決めます。

そしてBとCの中から、どうしても残したいものを決めていくのです。

自分の家の片付けと、実家の片付けは大きく違います。自分の家の片付けで物を処分するとすれば、どんなに頑張っても20%処分が限界なのが普通です。

一方、実家の片付けとは「最終的に家全体をカラにすること」です。

片付けの対象となるものが自分の家とは圧倒的に違うのです。なので、ものの多さに戸惑い、実家が放置される結果となってしまうのです。

実家の遺品整理の方と話しをしたことがあるのですが、実家の片付けで「残すモノ」「引き取って持ち帰るモノ」はせいぜい全体の1%だそうです。残りの99%は何らかのかたちで処分するしかありません。

そのため、上記の図を参考にAの領域の品を探して残すことにし、残りは処分するのが現実的なようです。

また、実家を片付けられない子世代の心の中は、思い出とともに捨てる事への罪悪感があります。その為には、親世代が元気なうちに、さりげなく思い入れの強いものを聴き出したりしておくことも、万が一の時に皆さんの気持ちを整理することに役立ちます。

+--+--+--+--+--+--+--+--+--+--+ 【 あ と が き 】 +--+--+--+--+--+--+--+--+--+--+

なんだかんだで49歳になってしまい、そろそろ人生後半戦！トライアスロンや登山などで鍛えているのですが、どうもその練習時間の捻出が難しく「ここまで必要ないんじゃないかっ!？」と思いはじめています。運動はほどほどにして、ビジネス書意外に小説を読んだり映画を見たりする時間が欲しい！でも、身体は健康でも脳味噌が役立たずでは後半戦は充実しませんよね。ということで、食を改めて見直しています。僕の基本は「工場から出てきたものはなるべく食べない」というスタンス。コンビニやチェーン店の食べ物はなるべく口にしません。50すぎると油も質のより良いモノをとることをオススメします。僕もMCTとDHAは意識して採るようにします！そういえば最近、オデコと鼻の頭が光ってきたような・・・皆さんの健康法は何ですか？

☆★♪♪♪ 僕への住まいの質問、元気になる応援メッセージ受付中 ♪♪♪★★☆

info@surugaya-life.jp

家づくりをきっかけに「体と心がよるこぶ暮らし」を考える

創業 1657年 株式会社駿河屋 〒131-0033 東京都墨田区向島 1-24-16

TEL03-5637-1179 <https://www.surugaya-life.jp>

